文化財資源を活用した魅力発信事業（桶川市）

【目的】

先進性のあるデジタル技術を活用し、歴史・文化の情報発信の拠点となる歴史民俗資料館の展示を刷新するとともに、観光まちづくりの拠点となる道の駅「（仮称）おけがわ」との回遊促進を図る。これにより、地域の魅力と情報発信機能を拡大させ、シビックプライドの醸成や市内回遊の促進に繋げ、地域のにぎわいを創出する。

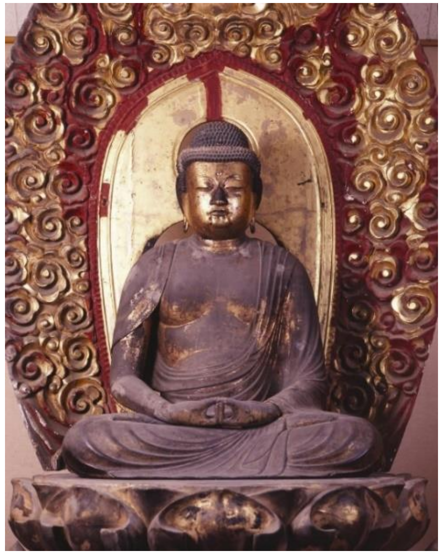
【概要】

最新のデジタル技術を用いた国指定重要文化財の精巧なレプリカ製作やICT技術を応用したデジタルコンテンツによる訴求力のある展示の設計及び製作を行う。

基準

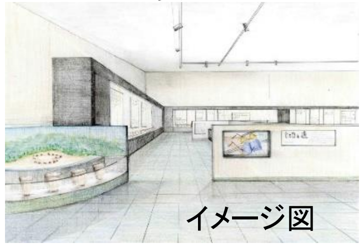
☑①先駆的な取組
☐②他の市町村の参考となる取組
☐③他の市町村と広域連携で行う取組
☑④官民連携で行う取組

■ 国指定重要文化財レプリカ製作（事業費に含む） ※基準 ①



◆ 中世の優れた技術で造られた「木造阿弥陀如来坐像」のレプリカを、現代の最新技術により製作・展示することにより訴求力を高め、にぎわいを創出。

■ 訴求力のある展示の設計製作（事業費に含む）



イメージ図

■ 子どもたちへの地域学習サポート

◆ 地域発展の礎となってきた貴重な文化財を広く市民に情報発信。特に市内の子供達に広く知ってもらうことでシビックプライドを醸成。

■「道の駅」との回遊促進と市内回遊を促す情報発信 ※基準 ① ④

イメージのため今後変更となる場合があります

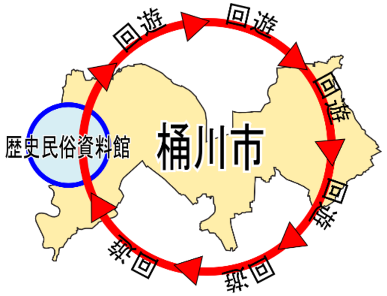
連絡通路イメージ（歴史民俗資料館側より）

◆ 連絡通路やイベントスペースにより、道の駅「（仮称）おけがわ」との回遊性を促進し、地域の魅力と情報発信機能を拡大。

◆ イベントスペースを活用した、当館が主催するイベントなど、道の駅と連携を図りながら当館を人と文化の交流拠点として成長させ、地域のにぎわいを継続的に創出。

■ デジタルコンテンツの活用と情報発信機能の拡大

※ 現在運用中の スマホコンテンツ



要望額：2,500万円（総事業費：4,685万円） 補助率：2/3